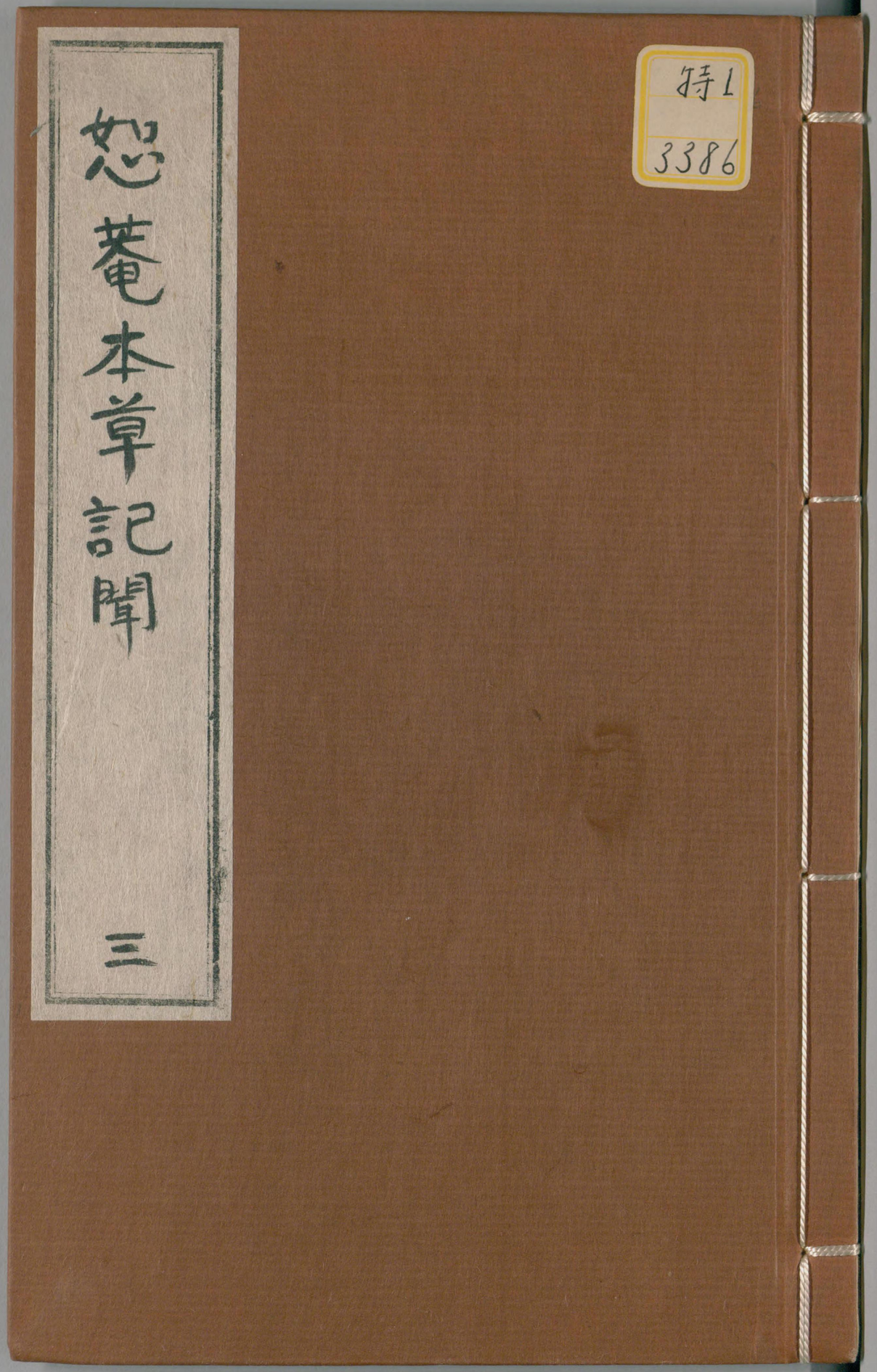


特1
3386

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386

ガラス使用

31.7.19

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』請求記号 特1-3386
ガラス使用

特1-3386

本草綱目記聞 巻之三目録

菜之一 葷辛類 十八種
果之一 五果類 十一種
果之二 山果類 三十四種
果之三 柬果類 三十一種
果之四 味果類 十三種
果之五 蓏果類 九種
果之六 水菓類 六種
木之一 香木類 五十五種
木之二 喬木類 五十二種
木之三 灌木類 五十種
木之四 寓木類 十三種
木之五 苞木類 四種
服餌之一 服餌類 二十五種

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

服器之二　器物類
五十四種

本草綱目記聞　巻之三

平安　畑菴松岡玄達考訂
門人　甲賀敬元
　　熊谷玄隨
　　江村如圭　同校
　　堀元厚

菜之部一　葷菜類

韮（ニラ、フヅメモシ）　発　刮痢酒（チンタ平）
山韮（ヤマニラ）元野生者有山之名不止山生而已也
李文韮（甲氏云野生韮也）
葱（ヒトモシ　子ギ　俗名ヲヅカ）
漢葱（夏子ギ）　樓葱（ヤグラサキノヒトモシ）
金燈（キツネノカミソリ　即山慈姑ナリ）
他說　稲若水　貝原篤信　集　凍葱（冬子ギ）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

発 球枝（キヅノチヨリ）
茖葱（ゲウジヤニンニク、センシヤウニンニク）
胡葱（アサツキ）
薤（ラウキヤウ、タマムラサキ 花唇三ノタマムラサキトニ
発 蓉婦（即妊婦也）
蒜（大ヒル、ニンニク） 家産者佳也 宅産蒜對野産
蒜云
興渠（アキ） 主治 狸獰 音聊 郭璞曰今江東呼猟為獰
山蒜（ノビル） 葫（ニンニク 僧隠名）
玉辛菜 五種ノ辛味也 詳医経名数
蕓薹（ツキタチ、アブラナ） 俗名搗科菜時珍以油菜
為蕓薹非也 凡トウ立者ヲ云蕓薹 謂苗菜形菜トウ
立モノヲ云也
菘（ハタケナノ総名ナリ） 油菜白菜一物時珍ノ為二物
集 蓬 扁ノ類也 紫菘（江ヅヒノナ 京都近江ナ

水菜（ミヅナ） 三才図会野菜博録云水春菜又名水青
菜
四月菜（或云夏菘菜） 笠前幹菜（ケンザキナ） 出常熟県志
芥（カラシ） 王世懋瓜蔬云芥子種収者不老 （然也）
為末
大芥（ヨ、バカラシ） 莧（弘景説トウカラシノコ）
紫莟芥（ムラサキカラシ）
皺葉芥（ヨ、バカラシ 春不老） 芥藍（筑前方言ニカウヘカラシ
トニフ） 本薩摩大州方言ハ
白芥子（シロカラシ） 白芥子元葉用関東及信州之産味極辛也
集 葉花而有子（葉ノ切レ込ミヨタキナリ）
蕪菁（カブラナ） 月令広義曰 夏菁名四時菜春食苗
夏食葉秋食菜冬食根 医呂子六要大頭菜乃是也
閉鞴菜（キリツケ）
菜菔（大コン、コロフト、オニスビシロ）
釈 仙人骨 凡有三種一種蔓生 一種叢雑而圓一種天蓋一種名也

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386
ガラス使用

廣藥記收名ヲ載ス是尾及ノ云ヤシゲ大根ノ類

集　至五六斤ト云

水菁雑蔔（ミヤマシゲ大根）　楊花蘿蔔（三月大根生常熟縣志）

汁蘿蔔（江戸ニテ云ハダイコン一名蘆菔生金幼孜北征録即是ナリ）

紅蘿蔔（赤大根証治準繩目門曰）

大菜根　赤氷玉珠作蘿蔔収ル本邦ノ俗大根ノ和名固ヨリ充レリ

生薑（ショウガ俗名ハジカミ和名）甲氏ヲ近来自長崎一種苗薑生葉形如佛掌葉有ヲセウガトヲ云ヒ氣味之薄是又一種生薑之屬也

集　紫姜（ハジカミ）　母姜（宿根也）

乾姜　附録　天竺乾姜（未詳）

茼蒿（シユンキク、ツマリレナイ、コウライギリ、ムジンサウ）

果之部一

李（スモヽ）　集　麦李（サモヽ、ワセ）賀ノ晩李

ヨクテ　櫻桃（ユスラ）　鎚李（モチスモヽ）

附方　蜀水花（鸐鵴菜也）

附録　徐李（未詳）

杏（カラモヽ、アンス唐音）杏ヲカラスモヽト云誤也　壽星桃ヤフスモヽ也　集　千葉本杏（高師寺畢通章第

某師円福寺ニ在ル物最香氣アリ）　金杏（金工）

木杏（下品）　金剛拳（ヲヽサアンス）

梅杏（スキアンス）

巴旦杏（アメントウ）　此物自西土来本邦アメントウト云ハ是ヲヲズ壽星桃ナリ

梅（ウメ）　行厨集曰梅子曰雪華詩氷盤来薦含酸（含酸）子又曰梅百花桃魁謂千雪中一疑結精華也

集　江梅（野生ノヒトヘムメ）　消梅（シナノムメ）

緑萼梅（ヘメノアナキムメ近来伏見生之）　重葉梅（ヤ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386

ガラス使用

ヘウメ）　醒蕾ち梅（青紅色雑モノヲ云）　鴛鴦梅（ザヒン花二ツ並咲リモノヲ云）　品字梅（花ノ三ツ丫字ニ咲リクモノヲ云是モザヒニトモ云）　照水梅（ハナカラ後水尾院甚愛之）　烏梅（フスベムメ充薬用）　臙白梅（梅花ノフミアラズ烏梅実青時皮ヲ剥カマドノ上ニ掛置黒ナルモノヲ用之）　棚梅（ニレムメ、棚楡ニレニツキタルムメナリ）　カニザキノムメナリ）

桃（モモ）〔集〕　宗奭所謂者二ケモモハ与夷別ニシテ即桃也一名ハクトウト云油桃（スハイモモ）一名道及モモ俗呼テアキントウト云モノ之ナリ　餅子桃（モチモモ）　ヒトウト云）　碧桃（シロモモ）　緋桃（和名京ニノ名未詳）　白桃（シロモモ）　細桃（薩及有馬和）　御桃　方桃　烏桃（未詳）　金桃（南黄花者）　銀桃（南白花モノ）

五月旱桃サモヽ　二色桃（俗ニ漸平桃ト云一名日月桃或云二喬桃）　綿桃（モノ中ヨリ糸ヲ出ス一名無毛桃）

附方　桃梟（一名桃奴キモリ）

栗（クリ）〔集〕　茅栗（シバクリ　ニテ云）　板栗（タニガクリ）　大茅栗（シバクリニモニタリト堂上山栗（シバクリ、サガリ）　栗蕤（クリノイガ）　作條（コヨリノゴトク）　毛毬（クリノシヤクシ）　指頂（ユビノハラ）　栗楔（クリノシヤクシ）

天師栗（未詳）

棗（ナツメ）本邦俗朝鮮棗ト呼フ形大ニシテ上圓ク円最佳也　鼈鼈棗ト呼フモノ形小ニシテ味メバサクツイテ悪シ

大棗（ナツメ木シダルモ）　羊矢棗（テウセンナツメ）　仲思棗（未詳）　苦棗（未詳）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

果之部二　山果類　三十四種

梨（ナシ、アリノシ）〔集〕我鳥梨（ヲホナシ）消梨（ケシナシ）雪梨（コガナシ）紫花梨（在大坂）牛面梨（名ニ記録ヨリ集編本邦越后新潟有馬頸是即此物也和名片九重ト云本書ノ重出ニテ食用ニナラズ形小ナルモノ）鹿梨（コガナシ）是いしやきノ〳〵トシテ食用ニナラズ形小ナルモノ）〔集〕棒（コカナシ）時珍説拠救荒本草詳ニ雅文陸疏以白棠為甘棠誤

棠梨（カメナシ　カレナシ　ニカナシ　キナシ　ヤマナシ）

海紅（ヒボケ）海棠ノ俗名也

ケ）垂絲海棠（サクラ）〔集〕貽斡海棠（クサボケ　唐ノ花海棠（疑是ナ

サクラ手）

木瓜（ボケ）松圃云花赤白有二種本邦榠樝ヲクハリントスルハ誤也木ボケトイフモノ也故ニ家言中木瓜榠樝ウチコミス

〔集〕花木瓜　戯ニ木ニアルノ時ヨリ紙剪紋之ヲハリツケテ四五日過レバ紋跡赤也映日処黄甚美也

楂子（コボケ）俗名クハリン是ハ誤リ梨トイフモノ也クハリントイフハ俗言也

餘話　細川家有呼楂樝菓子是榠樝窠生姜三種為如膏「一木榠樝ノ下」

木瓜　須知云和名カラボケ俗名クワリン形有大小長短皆可通用本草誤會詩註木拂木李木瓜而引入木瓜条分之又今出榠樝甚繁詳明顧益々麟詩経約ニ詳也榠樝与木瓜一物也又クサボケアリ是又木瓜ノ一種ニシテ木草ニ謂ル並海棠ナリ

楂樝（カラボケ　和名クワリン）（山査子ノ大ナルモノ也」「心中ノ字ハ楂子ノ下ニ当ルモノ）三弦ノ胴ニスルクハリンハ別也香木（メキモノ）

ナリ和ニナシ〔集〕温香（マルメロ）和ニテリ梨ノ小ナルモノナリ梨トリンゴトノ間

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386
ガラス使用

もノナリ花葉リンゴニ似タリ
集 沙苑（天子ノ牧馬ノ処）
山橿（サンザシ サルナシ）救荒本草云一名映紅
菴羅果（未詳）番語（アンモラク
ウノ子トイフモノヰ
柰（ナカリンゴ ベニリンゴ リンキン）集頻婆（トウアヅキ）
林檎（リンゴ）附方 擣子 都梠子
柿（カキ）塔柿（ミノカキ）軟棗（ス、カキ）方柿（コヨリ）
烘柿（ヒユリレミノカキ）集揑柿（ヤキガキ、キザハシ）
烏柿（ヤキカキ）白柿（即霜柿也ツルシカキ）朱柿（ニタリ）八稜柿（八王子）
柹錄（以柿作錄）柿茗草（フデカキ）酢柿（サワ
著盔柿（エンサカキ）牛心柿（医燈続焔云柿錄）
椑柿（キサワシ）集猴時珍所説者法柿也柿漆ヒツ也
君遷子（シナノカキ スベカキ ユテカキ サルカキ フドウカキ
マメカキ）
安石榴（ザクロ）甘者食酸者茎用行厨集曰石榴曰珠
実 集猴（一名）
集味甘者名天漿子凡呼天漿子ハ有三種其一者ふ
使メゴサメマトヨリノ子葉者也百葉榴也ハナザクロトヲ
橘（キノクニノカン）日本記訓香果古訓
知波南者非也古歌ニヨムタチバナハ
云ハ誤也コウジハ包橘也又俗書ニ
取甘之義也凡橘柑之属詳於
三体詩驢橘花南楓葉衰「驢橘ハ即枇杷也
朱橘（ベニミカン）青橘（朝鮮ノ名物青ナガラ甘シ）
包橘（白ワコウジ）沙橘（カハニキピアルヲヲ）
穿心橘（フシロノトリマワシタル真ン中ノスキタルヲ皮ヲ能リハリ
ズス故ナリ）
荔枝橘（ミカワニ
荔皮和名ミカンノ皮和漢共ニ入薬用唐又二種アリ其形極

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386
ガラス使用

大ナルハ廣葉ノ橘皮ナリ和ニモ有之近世和ノ陳皮ニハマザリモノヨタレ大ナル九年母ノ皮不擇入ルナリ又子大抵気味功能相通スベシ然レ共柑青皮和名アヲミカンノ皮ニカンノ青時ナルモノ八九月ニ収ヘシ但生家所貢ノ青皮ハ柑子ノ青皮ヲ取リ橘皮ニハニカンノ皮ヲ取リ柑子ハヨメノリシテ不貢ヲ以テ青時取剥テ青皮トナシテ貢ル青皮ハニカンノ青キモノヲ自採スベシ力言ニ四花青皮ノ称アリ是別ニ一種アルニアラズ只其皮ヲ制スルニ四片トナシ乾シ名ルモノ也

柑　橘ノ俗名ナリ橘ト当テ柑ト云ル大ニ混雑柑ハ司馬相如以来ノ文字ナリ大和本草ニ九年母ト云ル彼今ノ香橙貝橙橙一説ニ橘ノ総名ト云未可知

集　海紅柑　又曰香柑（クヂンボ）

橙　非物之名凡皮厚キ類通ジテ之ヲ橙ト云ニ至ト一冠字則為一物之名一俗呼甚々トス非也

回青橙（ダイダイ）　木蘗（ハニ上）

集　香橙（クヂンボ一名獅子ー）　壺橘（ハニ上）

橘（一名海紅柑一名密罗雅柑）

柚（ユ俗名橙）　柚古名出禹貢橙ノ名始出司馬相如上林賦大小有二種ト説ニテハシレカト日本ノ柚ニテハアラズ

集　臭橙（カブス）　雞爪柚（ハナユ）

咬喘柑）　香柚（何ニテモシリフクロニナリ名ルモノヲ云）

枸櫞（ブシュカン蔵器説）円者曰枸櫞偏者曰佛手柑　唐赤称

佛手柑　集　痛（音別柑也）

金橘（キンカン）　長者曰金橘円者曰金豆

釈　盧橘（金橘ニテアズ是ハヨレコンデダイダイノ如クコウジノルイヲニフ

三体詩ノ注ニ盧橘者夏熟即枇杷也）

枇杷（ビハ）一名盧　夏橘（ナツミカン）

枇杷葉用ニハ葉ノ重表ノ毛ヲ去ヘシ不去レハ射肺トス也

須知ニ嫩葉極大者用也

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386

ガラス使用

楊梅（ヤマモヽ）有赤白二種　水楊子（カハヤナギ）
集　水楊梅（ミヅヤマモヽ上品ナリ）　珍珠香（チンテウゲ）
櫻桃（ユスラムメ）　沐猴梨（キナシ）　垂糸海棠（サクラナリ常ノヤマザクラ）
山櫻桃（ユスラムメニ似テ有毛阿波方言ニワムメトモ云是ナヒメクルニヨサスナラン乎）
銀杏（ギンナン）イテウノ実也一名平仲果
胡桃（朝鮮クルミ、ヲニクルミ）本品是為上品和桃山核桃ト名ク俗呼鬼胡桃功用大抵相同時珍比喩腎臓者
集　核桃（オニクルミ名平仲者是也）　出鎌倉者薄皮
多肌ヒメクルミト云是也　榧柳（コブヤナギ）
榛子（ハシバミ）
橡子（トチクリ）　櫟（クヌギ）　古来橡櫟トラテ一物トナス

非也二種也櫟ノ皮ヲ黒焼ニ制衣シタルヲ土骨皮ト云俗名ニ
阿月渾子（フスタストモ呼フスタメレウトモ栗ニ似テ扁ニ
アリ末詳）
橅子（カシ）有二種赤白赤ノ強ク白ハ弱シ
集　甘橅子（イチイ）南都春日社前ヨリ小児妙ク食良
血橅（アカガシ）　苦橅（苦ク渋キモノ）　鐵橅（シイヲ）
苦提子（即無患子）
鉤栗（シイ）　椎ヲ番語ニシイト呼フ故ニ充末詳
橡実（トンクリノ実ニ）　日足ノ実ノ名也木ノ名ヲ波羅樹トス誤物也
橡ヲトチト呼フハ誤也但子ノ名ナリ但馬ノ俗木ヲシヅサイガシイト云実ヲシビサイト云）
集　橡斗（トンクリノヘタナリ今ヲゴキ是ナリ）
櫟実（クヌギ）　おウソトヲハ非也　朽也
欅　樸樕（一木堂治瘀血樸損宿滞必用之物）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

蘇枝（レイシ） 和ミナシ行厨集同曰蘇枝又曰綢枝
蘇枝正体蘇枝
龍眼 今ヲリウガニク大小有二種薩州産ヲ上品ト云
又有姫路室津ケンシヤウジニテヨリ又林田ノ官ヨリト云
実未熟ニテ落ツ
竜荔（未詳一本コレイレ） 橄欖 解魚毒本邦無之漢渡
有之
木威子（未詳） 菴摩勒（未詳） 訶梨勒（訶子一名）
毗梨勒（未詳毗ハ如此形ヨシヲ上）
没離勒（未詳） 五敛子（同上）
五子実（未詳）
槤実（カヤ） 詩経ノ栢舟ハヤチコノテカシハナリ
釈 波子（ヘヽカヤニ元非也ヘヽカヤ別ニ漢名アリ）
集 粗槤（稲云ヤマガヤ）

海松子（テウセンマツノミ） 京師等持院庭中有此物五葉
松又唐松
釈 新羅松子（大小有二種大者韓
鮮小者五葉也五葉内ニテモ大也雌雄六角色有之
集 五粒松（カラマツ、ゴヨウマツ）一名五鬚松或云五
鬣松（メマツトヨリ大庫道ニテヨリ庭ニ千本ヨリ云
テ朝鮮人為詩賦一根而数条ヨリ漢名生府志）
麻腐（食物本草曰以苴之麻搗爛去滓入緑豆真粉者熟
入庖缶中俟冷凝如豆腐油監薤
入庖缶中俟冷凝如豆腐油監薤蔬菜調者為素品
中佳饅五福全書同之）
檳榔 鶏心檳榔為上品有漢渡無和産長者曰檳榔子
扁者曰大腹子須智漢渡一種無人島有之大腹子ト
一種ニテ少有別無雑偽者也
集 枝茴香（即茴香也）
大腹子（是即檳榔之扁者）本邦無之漢渡有之
放
尾屋子（アヤニヒノ一名）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386
ガラス使用

集　寒瓜（カモウリノルイ）　解酒毒物別一種海ヤレトニタフ
椰子（ヤシ、ヤシヲ）　附錄　青田椄（未詳）
青ヅリ　樹頭酒（伊豫國平家椄乎）　厳樹酒（未詳）
無漏子（ソテツノミ）一名千歳麦又一名金棗
秋鳳尾蕉（ソテツ）　蘇鐵（俗名）別ニ番蕉ア
云有和名ヲヤシレマ
枕椰子　有無人島擲椰子ノ一種而有光如群サケテ内
ヨリウドンノ如キモノ出ル是ヨリ
蘇木　朝　在薩及蘇木ハ木ノ名ヨリ云ヲヤシルウドンノ粉ノ如キモノヲ云
集。都句樹（ニコトスルハ誤也）蘇木ノ俗言也　故者先年
豊臣少倉農吏絶之
波羅蜜（未詳）　秋　鼈
無花果（イチジク）　蟇ニ種ノ白イチジクアリ終始全

ク青クシテ赤カラズ故ニ白イチジクト云ル者乃映日果
無花果ハ其大ナル者也
集　花構菓（カヂノハ今七夕ノ歌ヲ書クモノ也紙ニスクヽ
精菓也）　附　文先果（未詳）
阿勃勒（トウカキ）サイカチノ一種也
附錄　羅望子（玖邨江村氏所贈物也本宮隆ヨリ来ル形
倫円赤肌如刀豆子ノヤウナシテヤヽ扁ナリ疑此物乎）
沙棠果（未詳）　探子（未詳）
鹿目（未詳）　集　白英（ホロシ）
都桷子（未詳）　都念子（未詳）
都咸子（未詳）　附　摩厨子下齊墩果（未詳）
楊桃（一作楊桃立敏子一名）
摩厨子（未詳）　韶子（有三種一種称山韶子又一種称藤
子又一種曰韶子凡三種藤子即アケビトニモノ也通草
ニアラズ其餘未詳）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

禹餘糧（未詳）
枳椇（ケンポナシ）一名癰漢指頭出薛已医按
集 続添 波離黎（未詳）
黄蕊（薛已医按許慎引準謂曰燔果或曰蜜厨童又呼蜜
六曲

果之部 四 味果 十三種

秦椒 有二種一種小冬山椒頌所説者ヒシカウ也
集 櫰子樹（カラスサンシャウ）
蜀椒（アサクラサンシャウ） 朝倉者但出地名自出蘸山椒
土椒（イヌサンシャウ）
崖椒（イヌサンシャウ） 椿椒（日上）
蔓椒（イヌサンシャウ、蔓生也） 地椒（ヒンシャウ）即蔓生ノ小ナル者也
胡椒 有二種一種草也一種小喬花家胡椒ノ木ト云モノ也

漢名白瑞香別名出相公府志等之書可餘話但馬ノ俗
禁瑞香ヨハナユシャウト云
畢澄茄（未詳） ヲホコシャウ乎熱国生出物本邦無之
附 山胡椒（未詳）
呉茱萸 京師梅ノ宮ノ辺畤ノ園有之
食茱萸（カラスノサンシャウ） 即櫰子樹子也
塩麩子（ヌルデ、カツチ） 「田夫子」今云木ブシ也本邦俗将軍木ト呼
附録 咸平樹（未詳）
石八丈草ト云者二元非也松岡曰蘭蓬宇
醋林子（未詳） 江次ツハヒ坂ノ産クルマミヾキ恐出物
茗（センジチャ） 茶（ヒキチャ 和名メザマシクサ） 郭璞尔
雅註云早采為茶晚采為茗故茗葉大而有苦味周茗
苦茗
皐蘆（ニガナ、ニチヤ 和名ナシ） 集 蹯茶（即圃茶）
葉似黄柏而無実味苦信邪

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

飯山及但馬ニモアリ　獻山ニモ有之

果之部　五　蔬類九種　蔬ハ瓜茄ノ惣名

甜瓜（マリハ）　有黄白黄青班之三種
金鶏卵（ヤナルウルハシキ有ヲ云）　白甜瓜（南都ホテンウリ）
又在尾及

西瓜（スイクハ）　土生隷専入洛華　集解　群芳譜所謂
玳瑁西瓜ハ謂西瓜実

葡萄（ブドウ）　京師所産者多白葡萄也為下品　康武所
産紫葡萄也為上品　集　歴（トリキニスルヲ云
ウキユスルヲ云）　水晶葡萄（白キモノヲ云）

今自西土来チンタ酒即葡萄酒是ヨリ本邦ニ亦所有之
木通　有青葡萄藤也本草新編有其説　宗奭引段
成式言取説非葡萄

夔蓬（ノブドウ、イヌブトウ、エビヅル）　附方　作園菜（草

部海金砂一名）

猕猴桃（ヤブナシ、ヤマナシ）　台嶽双輪堂ノ辺叢生有之築
前ニモアリ京都毛野生アリ　越後長岡ニヤブナシト云
モノアリ葉似海棠而硬実又如海棠熟則甘

甘蔗（サトウキビ、サトウノキ、サトウダケ）　茎ヲヒシキテ子ヲリ
ツメメル即サトウ也　薩及三州多生ル然レドモ大白少也　薩及三
州ハシタルモノチリ白砂糖ハ黒沙糖ニ又糯米粉ヲ掩之ニ吸ハシタルモノチリ白砂
糖ハ牛乳ヲ入ルト云
糖ノ製又別ニ混物アリト也　氷砂糖ハ是即甘蔗ノ一種ナリ）

菜　艸穀蔬

甘蔗（サトウ）　和名ヲギテト云其茎ヲヒシキテ子ヲリ
沙糖（サトウ）　百代医宗白黒砂糖南産志曰其法先取蔗汁
煮之攪以白灰成黒糖矣仍置之大麓漏中候雪水尽時
覆以細滑黄土九三遍其色改白有三等上白名清糖中
白名官糖下白名奮尾其所出之水名糖水也官糖取
之再熬煉歩鶏卵攪之入于渣滓上浮復覆蓋漏中
覆土如前其色如白名霜白糖也其所出之水名糖水

矣又取熬煉成糖霜密片矣為漏卷如椀盛盌
穿二眼出水其処也
乳糖（和名サトウ）　糖霜（ミロサトウ）　漆雞尾（ムロ）
紫苓糖（クロサトウ）　集　秘饌（コンペイトウノ類）
拾糖（アリヘイトウ）
石蜜（コウリサトウ一本アフリカトウ）　烟草ノ毒ヲ解也又蓮蜜
モ石蜜ノ名アリ隨名而考也
煎蜜（是即崔錫也）　附錄　精齊（未詳）

果之部六　水果類六種

蓮藕（ハス）　蓮茎有岐者名並頸蓮三種者曰品字蓮
芙蓉ハ花也今葉ヲ荷葉ト云因陸機說則茎也時
珍モ是說ニ見ル「石蓮有二種大所謂石蓮肉者圴狀如石
為名　衍別ニ有木実石蓮何堉元本件必読類纂載之可
考考

金蓮（京師ノ近田舎ニ鳥羽ノ竹田ト云処有其地ニ有黄色蓮
華是即金蓮ナリ）
萩　其実蓮（当作房　其本艾蒿蛍（白蒻）　根（音昏
花謝也）　集　粉紅色（サクライロ）　鍋垢（按ニ蝸
通ロウソクノナガレ）
蓮肉（ハスノミナリ）一名石蓮肉至熟極テ硬キヲ云也非別
物近来一種従漢渡有名蓮肉非真石蓮樹実也出自
粤東中何堉元本草必読治痢病禁口者石菖蒲石
蓮肉非其石蓮実則無功也其他清心蓮子飲等誤不
可用明繆仲醇本草経疏弁非真実本草ノ石蓮
別ニ一種ニアラズ老蓮堅実ナルモノヲ云樹生ノ石蓮ト云ハ破
開ノ内ニ無心味苦辣非常用之者也
紅白蓮花　群芳譜出一種ノ倒蓮一名蔓蓮本邦有之
淀心齋屋舗有之狀似蓮而蔓也
菱実（ヒシ）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

英実（ミヅフキ、シニハス）　丸並ニ如鶏頭実大トイフハ鶏冠子ニテアヅ赤実也即鶏頭実也俗曰鬼蓮（一似荷葉芝及葉背茎有刺所在生水中鶏頭条ト不可誤混）

荻鈎芽（即苦芙）

烏芋（クワヰ）

慈姑（クワヰ）　クワヰトイヘドモ蒲ノ名アルカ或ハ蒿尾草等ノ名アルカ詳ニ治功缺詳載時珍食物本草ヲ可補故以下首略未詳者挙テ識別者也

附録　諸果自此以下諸品主治功缺詳載時珍食物本草ヲ可補故以下首略未詳者挙テ識別者也

候騒子（雪揚対菴丹鉛録）　苗子（ムベ一名イクヒ和俗曰都子近江ノヲヽノハナトイフ処ニノメレ常盤アケビノ実ニ似タリ）

人面子（可考）

木之部一　香木類　三十五種

栢（カヘ、コノテカシハ）　松園曰当有側栢也稲氏和名セン

ジュト云ハ非也千嘗ヲ栢ト云フモノニセンジュヲ充テ可也本草微要曰栢有数種唯根上発根々茎叢茸茂蜜名千頭栢又名仙手栢云々故ニ因テセンジュト云カ凡栢属有十一種須知云コノテカシハノ内センシュトヨマヲ上品トス李仲梓一医宗必読及本草綱要ニ見ヘタリ葉下ヲリ集生ス故ヲ千指栢ト云又名仏手栢若無之則常之側栢可用

千嘗栢（日上）

扁栢（今ノヒノキ檜ハヒノキニアラズ）　檜栢（スギビヤクレン）　臥栢（ハイビヤクレン）　円栢（ビヤクレン）　竹栢（可考）　椴（モミ）

松　凡称松者有幸種海嘗子等与数条可参考

葉　松枝ヲ鱗砌トイフウロコノ下カラカサナルニ似タリ）　柴松（チヒサキヤセマツ）　一針松（在加州

又近江唐崎松　赤松（メマツ）　白松（シモフリ）　山城大悲山ニアリ　黒松（ヨマツ）　絲瑞松（ニツハウマツ）　眠松（枝ノ垂タルマツ）　松脂（一名琥珀孫遊名山記載之）　両鬚（ツヅノマツ）　五鬚（五葉ノマツ）　七鬚（七葉ノマツ）　艾納（マツノセミコケフリタル艾納香別物見芳草部）　杉（スギ）　萩　檜木（アブラスキ）　詳疑ハアブラスキノ類字）　丹桂木皮（未有数品真之桂無本邦自西土来者以東京産為高）

交趾産次之詳見集覧

肉桂桂支桂心（不可分別）　牡桂（常ノ桂）　官桂（上品）　巻桂（松浦肉桂）　草肉桂（長寿之称為上品ナリ）　筒桂（抜ニナラヌ若キ桂之）

松浦肉桂竹篦桂（月物下品）

桂皮ニアラヌ土地男ニテ悪シ桂葉三縦文葉先ニ透徹スル又次之菌桂ハ三縦文不徹而半葉而折ノ細キ処ヲ取ルヲ云又名柙桂本一物也

菌桂（ホトケノクラシ）　葉ノ縁ト中ト二白キ筋アリ之ヲ三縦文トヲ云本邦俗称肉桂ハ是也於本邦為上品然ニ非真

肉桂

天竺桂（是即月桂也）

月桂（ダモ）　本邦筑所呼松浦肉桂者木蘭也

林蘭（即木蘭也）　花鏡等書所載者非木蘭乃山厄子也

雞豆（メヌキマメ黎豆別名）

木蘭（モクレンゲ）　禁白者春南花時珍所説四月始開ト云是和俗呼ヲヨヽヤマレンゲトヲ云也

辛夷（コブシ、ムラサキコブシ）　禁幸夷京師因幡筑前ニアリ云禁幸夷京師因幡泥香（筑前ノ寺中有之）　花名木筆

泥香（水香為上品然某用以中下者為良沉水香者其功淡沉香於本邦希薩云ヲ琉球ヘ渡ル道々島ト云処アリ此ニ沉香アルヨシ傳聞ス和漢清隆寺ノ什物ニ名木アリ古来ヨリ沉水香ト云真物ナル可シ扨仏ニ作ル

香ト云テ伽羅ト沉香トノ間ノモノ也
奇南香（キャラ）本邦俗呼梵語也伽羅誰非漢名
見醫確類書
蜜香（即木香也）
丁香（テウジ）薬用又ハ香餌ニ入ル物ハ鶏舌香ト云テ
小ナル方佳也毋丁字ハ大ニシテ薬子ナドニツカフナリ丁香葉
味曽漬ナドニシテノミ公大人ニ献ス
檀香（ビヤクダン）有赤白紫三種
降真香　有三種上曰紫藤香中曰鳳眼香下曰降真
香本邦薬店曰上品者又下品上品者及上品ト呼也秘旨
倉南方竹木状之中紫藤之事詳有之降雷気香者薬
店為下品降真香也猛烈也
楠（クスノキ）俗呼テクスノ木トナス誤也クスノ木ヨリ出ルヤニ
ヲ樟脳ト云以是可解疑
樟（クスノキ）無鳥薬則代用樟干可也
杓樟（クスノキノ一種）ホウテノ鳥ノ薬是也今医誤テ用之非真
鳥薬
鳥薬（ウコンバナ、ハウノメウコン）有唐
上品ナリ方書ニ天台鳥薬又台鳥ト云ヘリ是ナリ其ク、
リ無キモノ杓樟也和ニアリ連珠鳥薬ハ下品也
ソリト稍ク是ナリホウテノ鳥ノ薬ハ下品也
附録
研ノ末（未詳）
檳榔香（未詳）天竺香ニシテ不詳
一名異物
釈　鬼妻婆香（薫香
必栗香（未詳）筑前ニノブキト云アリ
楓香脂　鄭玄神戸ト云処ニアリ楓モニ似テ
薫陸香乳香　薫陸者自西土来以乳香代用佳也本邦
薬店呼薫陸者非真薫陸乃琉珀也薫陸乳香本
一物根曰薫陸流滴者曰乳香
波薬　本邦無自西土来一種也

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

騏驎竭　ナマキテト呼フモノト是ナリ本邦花肆所呼ノ馬蘭也騏驎竭上品ヲコナマキトイヘル中品ヲ大テマキトイヘル下品ヲコテトイヘリ其ヤニヲトリテ用ルモノナリ　集　海母血（可考）

質汗（ニイラ）　呼木乃伊者非是コレハ造製スルモノナリ蛮人木乃伊モニイラトイヘル是ハ人ノ日ニテ干ナツタモノナリ

安息香（未詳）　カメマレルヲ安息香トイヘルキモノヲ安息油トイヘル也

藿合香（未詳）　一物ノ名ニアラズ合セモノト見ユル也　梁書說阿也頗所說類蘇木無香気ト云ハ誤也　狮子矢者說誤也

詹糖香（未詳）　詹ハ漸々トイヘドギヤウセンノ如ク延ヘハ何処マテモ延ルモノ也　附錄　結殺（未詳）

篤耨香（未詳）　集　真臘国ヨリムロコク今汁室ト書誤也　附錄　膽八香（未詳）

龍腦香（クスノキノヤニ）一名冰片　樹似杉木ニセリ　附錄　元茲勤（未詳）

樟腦（クスノキノヤニ）本邦ニテモ採ルヨリ　有草阿魏木阿魏之二種阿者枕詞也　五草之一也　木阿魏者在天竺草阿魏者以葱麵和料製成者也　阿魏無真者誤也　元朝用者草阿魏也

蓽茇（未詳）　是亦自天竺来ヤニ類也

胡桐淚（未詳）

迦魂香（未詳）　附錄　兜木香（未詳）

木之部二　喬木類　五十二

蘗木（キハダ）　実ノ名レコノヘイトイヘリ又似朝鮮五味子又小栢ノ葉ノ如シ眼科之用也　陰労熱ニ妙也　形如胡椒

集　子蘗（東武將軍ノ佩箭ニナルモノ是也尾及紀及川
掌有之江及石山當谷ヨリ通ル黄蘗山道筋ニ皮黄味
苦狀似石榴樹ヨリ乃是也）　女貞実黒（テラウバキ
又子ズミノフン）　冬実赤（皆在本条）
檀植　黄柏ノ根又ハ幼ツクヨリ生ル品トス本草原始ノ圖佳
小蘗（コカヂエンジュ）　メギハ鎧トウシ加茂ノ境内ニ有之
黄櫨（ハゼノルイ）　延喜式ニ天子ノ御衣ヲ染トアルヲ今ハ
トクト知レヌモノ也
厚朴　本邦所謂ホウノ木ヲ以テ上品トス本草原始ノ圖佳
也一説雑葉樹皮ヲ充非也物理小識等之所論者メム
クノ皮ヲ指ス也一本堂ヲ築遷云俗間呼和厚朴者福尾樹
是也其樹喬大皮赤而厚朴狀大類華產朴皮味又
近但似味帯微酸使人有欲嘔意花実与本草所錄
大異也故唐厚朴充薬用
集　四時不凋トアル者無和
附錄　浮燭羅勒（未詳

子曰逐折（社仲実又曰逐折方書ニ多出補者用社仲実消積者
厚朴子ヲ用ユ厚朴和名ホウノキ皮）
厚朴和漢共可通用是大抵有二種
三所謂者ホウノ木ノ皮也阿間府志及物理小識ニ所載ノ雑葉
樹葉可用以磨犀角象牙トアル者加条木厚朴トスルノ説古来不見惟河南地方ノ所用上耳
通用者ト難定本邦自古ホウノ木ヲ用ユ其皮色氣味ヲ
考フルニホウノ木ノ皮赤朴紫朴ノ名ニ應シ且効ヲヨシ如繁
皮色理氣味皆不佳黄佳用
杜仲（マサキ　マユミ）　有憂生独生二種武州所充者又滿
由民非是滿由民ハ皮間無糸而内有糸金雲紫秘錄
曰思仙木者即杜仲也又マサキカヅラト云憂生也
椿樗　俗ニチャンチント呼者是也椿和訓ツバキト云ヨリ誤ヲ
椿根ヲ用甚誤也二物ヲ打込テ挙樗ハヲヽチト訓ス非也
大和本草元島山椒者非是ヲヽ棟ノ和名也樗ハ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

キルヲノチンブクロ也椿ハ香椿也葉芽世万食擇ハ無シ
甲氏云椿者知直也依俗コウコウヘツコウカウカツ
モリ曲折也依之海濱冬月必到異鳥其形色黒而大
俗呼昆務頓輸古歴代史所載之海翁是也史海語
伴有之
漆（ウルシ）　凡擬乾漆要書漆家及髹匠所貯漆桶
中自然乾者為佳高騨所産之乾漆者即石蕗俗
呼テカラスウルシト云勿必用故近来自公儀命止メシヨリ
メルナリ　集　荏油（エゴマ今ニ引クモノヨリ桐油
トスルハ誤也荏ハ白蘇ト云テ能ク荏苒ニ似名モノヨリ
梓（アヅサ　アカメガシハ　コサイバ）　京都白川俗呼コシヤハ
祭事ニ土器ノ下ニ敷故ヨリ
集　椅桐（エヒヨリ）　詩所賦者四物而非一物
楸（ホソテコブラ　ヒサギサゾ）一名雷電桐
集　刺楸（即刺楸桐一名海桐和名ハリキリ或ハボウダ

ラトモ
桐（きり）　白川学海陳翁賦玄三千種白桐黄桐各以花
言也　集　白桐（一名炮桐今肩笈等ノ箱ニ作ルモノ
是ヨリ）　青桐（未詳桐ノ和生カ）　岡桐（アブラ
ギリ江忍ノ俗陳ル是ヨリ）　赭桐（トウキリ）
梧桐　大和本草ニ竹載ノイツサキ小葉々
五岐アルハヨリ
蟲子桐（アブラギリ、イヌメラ）　桐油ト云ハ是ヨリ出ル時ハ清ユル也　桐油人
不穿ノ中ハトモリ人已ニ穴ヲ穿ル時ハ濁ユル也
集　紫花桐（別物）
海桐（ボウノメラ　ハリキリ）　葉ハ桐ニタタレ有三種花鏡所
載ハ山器之一名也一種海桐花是亦別種也
集　檳樹（蜀葵黄一名）　附録　鶏桐（未詳）
楝（和名ヲウシテ俗名センダン）　有胡昔二種昔楝花葉
用和名ヤマトタチ子京師産酢楝ニシテ長女ノヒバア

カギリニ付ノルモノ是也本草綱目棟条ニ苦楝金鈴子ヲ一處ニ出無年詳察スルニ唐ノセンダンノ実ヲ苦楝ト云ヒ只譚名ノ楝実ナリ苦楝ト云ハセンダンノ種実円而不長味極苦者アリ今之ヲ混合シテ無別今ヲ表明之

槐（エンジュ）有皮黒青二色今キヂヤニノ胡椒ツホニスルモノハ白黒混ルモノ也槐有二種細葉円者為真新用八新一也一種有黒槐イヌエンジュト云葉大而木皮黒色実又異也功用大抵皆同十葉者可入薬用也

槐角子ハ槐実也出葉有可用棟槐膠ツエンジュノヤニ自漢来者一種也和木ハ膠極テ少ナシ漢渡可用也

集　其実作莢連珠中有黒子（按是槐ノ最下品者也）

檀　マユミト訓非也カタキト訓佳也葉似槐

莢蓮（アヨキトラ）姓路及敵山ニアリ葉似萩赤実蔓生スルヲ也串ガイヲ連ネタルモノ是也可考

皮（トチリコ）加賀越前俗呼テタコノキトス其汁ヲ採リ唐墨ヲ煉ル故唐墨ト同ニサレドモ実ハ皮トハ功合歓（ネムノキ　ネブリノキ）申時ヨリ葉ノ萎ムモノナリ

狗骨樹（ヒイラギ）

皂莢（サイカチノサヤ）凡有四種本邦之産肥皂莢也猪牙為上品波斯皂莢者波斯国ヨリ来ル一種皂莢アルナリ本邦産最多山城北山ニアリ越後高田ニモアリ波斯者莢内ニシテ長実厚闊也然ドモ久経ル気味薄也宜詳

肥皂莢　本邦之産最多山城北山ニアリ越後高田久生之

集　雲實（シヤリケツイバラ）馬蹄（ヤマアリ）

無患子（未詳）

欒華　珠数所製ノボダイジュナリツブノ木トスルハ非也京洛之東山下安井前仙棟是也

無食子　本邦ニ無之唯引集要曰無食子医統ニ出ルハ非也日光モミトスルモノ是ニ

皮石子　集　樫（柳トスルハ非也）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

（秘也）

詞黎勒（即訶子也）　集　天主（バテレンノコト）

八路（八角ニ）　六路（六角）

婆羅得（シラキ　シロキ）　実ヲ口ニクトノ菓子ト云仏書呼ノ八口ニアリ　集　三聚果是也　実ニ或ハ三ツ重リ長ス故ニ名ク　三井寺

柳樹子（カリヤナギ）

萆麻子（トウコマノミ）

樗（クヤキ）　コブヤナギト訓スルハ非ナリ

荻　樗柳　鬼樗　此二名コブヤナギ

集　弘景所説ノヤナギ　嬾皮宇

柳（ヤナギ）　荻　楊柳（シタレヤナギ）　隋煬帝時楊柳ノ称ヲ賜ヒ即今ノシダレヤナギナリ

樗柳（日光モミ）　幼科準縄痲疹門云樗又名西河柳

錦囊秘録曰赤聖木

荻　雨師（雨露ニアヘバ必ス伏ス）　三眠柳（日三度俯ス度起）　集　河柳（按西河郡ノ柳也今誤テカハヤナギトスルハ非ナリ）

水楊（カハヤナギ　マルバヤナギ　子コヤナギ）　楊枝ニ作ルモノ是也

集　修荳（ヤチフクラ也）

枝柊（シテサクラ）　三月頃京都花店ニ出之シテヨキリカケノコトク出ス朱子棣ヲ棠棣ニ充ルハ非也

松楊（未詳）　ムクト訓スルハ非也　ムクハ糙葉樹也一名朴木

榆（ニレ）　元有四種葉背青白ノニ色葉莢ノ先ニ虫或後ニ虫ヲ生ジテ四種也

椰榆（ヤマニレ）　京師大佛ノ辺焼ノ処多シ

蕪荑（ヤマニレ）　能殺虫故ニ肥児丸中ニ入ル漢渡一種本邦未見ニレノ一種ニシテ極メテ臭シ

藤方木（スヲウ）　本邦花肆ニ所謂スヲウ花ハ与此別而紫茎ニシテ葉ハ似槐葉ニシテ小ク又ハ藻衣物也　書国ヨリ来ル藤方木漢渡ニシテ和ニスヲウノ木ト云ハ紫

荊花也　即古人所謂田家荊也陳家甲及第二ノルモノニ非ス又独外科家採用其和ノスヘテ日紅与漢土之藕方木絶不同也

鳥木（コクメノ）一名鳥文木

樺木（カンバノ木）白カンバ赤カンバノ二種アリ羊皮ニ作ルモノナリ　雨中ノ松明トスル以故木作燭トキハ水中ニテモ能ク燒燃ルナリ赤カンバハ以樺木ヲ樺木之間当脫鐵刀

樺木一条

鍛木（カシヨシノ）ニテ甲ナレツボノ木一名）未詳

椶櫚（シユロ）集　結実作房如魚子（東坡詩集ニ椶魚ノ詩アリ常ニ煮食スルナリ）

椶筍（行厨集曰椶筍白木魚東坡詩賜君木奠三百尾）　椰子（ヤシヲ）　枕榔（琉球之産可考）

虎散（和ノコサシ竹ニ充非也是自西土来者也）

蒲葵（ビロウ）隆冬ニ至ルモ筍ヲ作ルモノ

攅木（未詳）　柯樹（シヒノキ未詳）

烏臼木　筑前福岡尤多シ葉似細辛ニシテ少ナストアリ

巴豆　本邦ニテハ薬物ナリ毒魚ヲ取ルモノ真也

大風子　今ノ梅毒ニ雷丸油トスルモノ此油也雷丸不乾ノ

油ナレ

海紅子（ナレハンアツキ）

相思子（トウアツキ）　孔相思ノ名スカイ或ハ烟草ヲ云

猪腰子　猪ノ睾丸ニ似タリ左右ニ二ツアリ辛キモノ也根付ケ

石瓜（一名石松子）　ヘルヘスナリ　腰子ハ外腎ノ隔語也

蛮物也本邦無

木之部三　灌木類五十種

菜（クワ）　和名也　白菜鶏菜二種有二種白菜ハ真菜也葉円
也鶏菜ハ葉有岐功用同シ菜之種類及種植ノ法農菜
輯要及農政全書ニ詳菜白皮ハ根白皮也地上ニアラ
ハルヽモノヲ可忌也　集
菜（カラクワ）　山菜
菜黄蝶蛸（クワノホニアルカマキリノス）　女菜（ヒメノワ）
柘（ヤマノクワ）　奴柘（イヌクワ）　菜茸（クワタケ）
猪（カミコウゾ）　凡続断皮以接為紙也　今七夕女子歌ヲ書
クハ楫ナルベシ　菜苗（クワノコナヘ）
枳（キコク）　本邦ニ亦肆時和枳殻者
古不分枳殻枳実宋南宝本草始出枳殻之一条ヲ為
枳実熟紅者為枳殻一本堂呼為枳殻者以為枳実
元用按薩摩所産之和枳殻者皮厚而大味甚辛不
堪於薬産漢渡一種小枳実ト云アリ是又真橘之
青者也本草雖始有品而可考然非真物　和殻カラタ
チト訓ス非也俗誤来カラクダメ
也枳実枳殻雖ヲ渡ス甘ニシテ可採ヲ七十日ニ採収
ヒテ色青者枳実也九十日ニ収テ色紅者枳殻也
枸橘（カラノメナ）　一名臭橘
梔子（クチナシ）　七稜之物考ニ品在山者佳也故名山梔
子六稜八稜ノモノアリ花千年者名玉玲瓏　須知云
野生形小者佳也家園生而形大者落色ノ用ニ供ス可シ
附木斛（未詳）
酸棗　棗ニ似テ酸キ故酸ノ名アリ　薬用ニハ仁ヲ用ユ
白棘　山ナツメノ一種也　杜子美天棘青銭ト作ル天門冬ト
也　称薪　黄（ヲトマツヨリ）
薜荔　自西土来者為高本邦又有其物
山菜黄　本邦ナレドモト訓ス非也

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

胡頽子（アキグミ　ナツグミ）　集　本草食（ナツグミ）
金櫻子（ナニハイバラ、ナワバラ、キバラ）　集　當実（野イバラ実）
郁季（ニハウメ）　集　唐李（李辞）
蘭李　有二種一種白メキ也　ヒレヤサキニ似タルモノナリ
女貞（テラウバキ、ネツミモチ）　本草必読所説之女貞ハ与此別物考
冬青（クロガモチ　江戸モチ）　今云モチノ雪椿也
衛矛（ニレキバ）　マユミト訓ス非也　ニレキバハ刺アリテ葉付キ
狗骨（ヒメヅキ）　甲氏云大ヒメヅキ　冬青ノ属乎　鳥モチヲ以製ス
山礬（ヒメサキ、ヒサゲ）　在本邦筑前最多シ
擷翠軒以瑞香充之者非是
集　芸香　此別物也　今本邦俗以銀杏葉入於書中
調避紙魚甚誤也　銀杏無避衣魚之功疑此以芸香
之似銀杏誤乎芸香則有避虫之功是以俗誤
須知和名抄芸香ヲサカウリト呼損軒芸香ヲルウメト云
非也時珍引説文曰似芸當此ヘンルウメ乎
梫木（民志的志的剣之白苑有乎）
南燭（ナンテン）　一種無花実呼狗骨南燭者非南燭之
属鈎吻之一種也　有白南燭実白色ヒラギナンテンノ朝鮮南天ト云葉ヒラギノ如ク長サ三尺
実葡萄ノ如シ
五加（ウコギ）　鬼ウコギ刺有粗而不堪食用ヒメウコギハ
刺モ尤ノ二ノ用是ナリ
集　大片類去皮ヨニウコギ之ナリ
枸杞　地骨皮（クコ）　葉実共ニ四キモノ真物也　葉細而長
実又長キモノヨラシダクコ也　茎肥
故則枸杞也　地骨皮和産則　枸杞根也　須知云和有
二種無刺者真也有刺者ヨラシダクコ云又天草クコ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386
ガラス使用

トイヘリ　釈名ニ棘（ヰラン　ダクコ）
漫疏（ヨラン　ダクコ、イヌクコ）
楊櫨（未詳）ウツギト訓ス非也
石南　有石南樹石南茂之三品也石南樹石南
藤未詳石南巻即今云セキナンゲノ巻ナリ
釈　風葉（石南巻ノ和名歟）　楊桐草（ナンテン）
葛覆子（アケビ）　楠木ノ釈名未詳
菖蒲（ハマツヾキ、ハマボウ）ハマヲヾ海濱砂地ヨク有之
取皮為香勝于芥草今人家以為香古俗為線香下
品之方莽草菖蒲子皮木蘭三味ヲ以テスルコアリ
藥荊（未詳）　石荊（牡荊ノ小者）
蔣荊（スヲラハナ）　三月サクラノ時花開百日紅ノ如ク紫
也葉大シテ丸シ田家荊之ヒトリアサカホト読ム本
釈　内消（外科用之同紅内消治腫物故）

木槿（モクゲ、ムクゲ）一カ葉集等ニ所詠者是ムクゲヲアサカホト訓ス源氏物語ニ韋生花ヲリアサカホト読ム本草摘要ニ蕃也　朱槿（ブッソウゲ）
金木槿（黄色ノ白槿花草并白色之者亦同用）
扶桑　離槿
薩弘俗呼仙来花或曰琉球ムクゲ
木芙蓉（フヨウ）以芙蓉ト称スルモノハ蓮花ヲリ木芙蓉ハ木也花艶麗可甚愛也
釈　拒霜　又ニ時ト変ヲ推テ受名ヲ改名ヲ云
集　陳色（色ノウルヲ云赤色ヨリ云）
山茶（ツバキ）俗椿ヲツバキト云椿ハ香椿也花鏡尤詳
集　一捻紅（アメカシタ）　石榴（ザクロ）
宮粉茶（ミヤウシンシツバキ）　宝珠茶（心ノウツバキ）
海榴茶（未詳）　滇茶（一名蜀茶カラツバキ　単似木
靡サラ〳〵トスルヲリ）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

蝋梅（ナンキンムメ・トウムメ）昔ハ本邦ニ不聞有之後水
尾院時学自朝鮮来一名狗蠅梅花ノ形大ニシテ蠅ニ
似タル故ニ不雅ヲキライ丸英梅トモ書カヘタリ
伏牛花（コトリトマラズ）ムメモドキニ似テ花黄也木高サ
三尺ニ過ギズ春実アリ刺アルモノナリ
欵冬蒙花（和名未詳）稲氏云今ノ山ウバギトイフ花ウシヤノクチト咲ノ
窓ニ花紙トイフモノヤリ今ノ鳥ノ子又ハウスヤウ杯ハ
之ヲ以テスリナラン大形小形ノ類ハ檀紙ニテマユヲ以テ
スリナリ宿紙トハ天子ヨリ出テ法橋法印ニ叙セラルヽ
トキ宣命ノ書出ル紙コレナリ
木綿（キワタ、ハンヤ）蘼蕪ヲ和ノハンヤト呼フ日本俗所呼
モノ即草綿也詩ニモ木綿花開鶺鴒飛トイフ
釈古貝毛氈ノコトシテ木綿ノコトニ非ス宝ヅクシナ
ドヲ織リタル毛氈ノコトヲ云フ也

古終（似早者名古終是即今ノキワタナリ）江戸ニノ法会
柞木（ツケ）葉ヒラクトシテ垂テ黄色ナルモノ木栗也ヨハリ
ツケ、イヌツゲ木剛者ヨメガサラトイフ今立花ナドニナルハイヌツゲ
也若芽ノ上ヲ取テツカウ黄楊脳トイフナリ
黄楊木（ヨハリツゲ）不凋木（未詳）
青子木　チヤノ木ニ充ハ非也須知和名抄ニコマニヒクキト
云時珍ハ不知トイフ
木天蓼ノ（マタビ）六月ニ葉ヲ
ノ如キ花サクモノナリ故ニ夏梅トイフ
放杖木（未詳）
接骨木（ニハトコ）俗名タズ和名ソクズ草タズノコトナリ
京都ニテハタズノ木トイフ賀州同シ
靈寿木　李詩大雅丹波方ニ言ヘキノ木トイフ老人ノ杖ニシテ
命ヲ延ルヨシ云賀ノ時林ニ送ルベキ木ナリ

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

楝木（メラ）メロドリトマラズトモ云一種生ヲウドモドキト云
（若木本ニメロノ木トアリ）
木蘇（未詳）一本ハリノ木
大空　在台岳無慶水ノ辺葉似桐

木之部四　寓木類　十三種

茯苓（マツホト）和産雄松ノ生ズル赤白共ニ松根ヨリ堀リ得ルヲ上トス一種ワラビ茯苓アリ是蕨ノ根化スルモノナリ猶知云一種ノ蕨茯苓ト云ヘリ往昔甚処ニ雲樹アリ其根ノ切株ヨリ竹生ズ故ニワラビ茯苓ヲ生ズルト云ハ非也是亦可通用

琥珀　和産佳也即ち産所称ノ薫陸是ナリ
蜜　琥珀之黒者也黒水晶トス
蠟珀（キンハクテ）
猪苓　状即ホコリタケノ類ナルベシ竹林中ニ生ズ和産ノ異形

実長而不似異産円者
雷丸　大風子及墨子桐ノ実称雷丸者非也
菜寄生（クワノヤドリギ）黄色而微干心中者為佳隠岐之産上品真物稀也寄生多ノ雑木可択木ツゲニ似テ葉ツヤ〳〵デニ似タリ百ヨリシテ有毛折之ヌケテ代用菜生癭木也中風癱瘓ヲ治スルニ有功
集　如麻黄ニヲヽ　筑前ニテ松蘿トヲモノ疑ラハ是乎
松蘿（マツノヤドリギ、マツノおや）
楓柳　楓ノヤドリ木　楓ハ勢及ノ柳寄生　モミノヤドリギ　柳寄生（ヤナギノヤドリギ）
古斯（クスノキノヤドリ木）

木之部五　苞木類　四種

竹
淡竹（ハチク）
集　篁（カンロタケ）（カンロタケヲ唐ニ訓也）　篁（シノヘタケ）
苦竹（マメタケ）一説生筍而苦ク入食用者

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

皆苦竹　篲（タケノカハ）　実心竹（メシアリ、ヒメ
メケ）　方竹（ケメナルタケ）　無節竹（京永観堂ニ一重切
ノ曼陀羅）　天親竹（トヨウメケ又曰投竹）
箆竹（ゴサンチク）　鳳尾竹（トコウタケ）
楞竹（シユロチク）　黄金間望竹（キンチク又曰黄金
泄南国史）　孟宗竹（カンチク）　瀟湘竹（フンコチク
又曰満妃竹）　千里竹（ヂサンコ）
竹類種甚多而不可逐一録之泄南国史典籍便覧
筭可考
天竹黄（タケミソ）　即天竺黄也混熟ノ気ヨリ内ニ凝
ルモノナリ　竹ノ外ニアルモノヲ竹蓉ト云
越前鳥屋野ニサカサマ竹ト云アリ枝指下
垂奇
仙人杖（タケノコノメチガレ）　江双産セテイチクト云
鬼歯（タケノキリカブ）

木之部　六　雑木類七種

椎木　古城ノ跡ニ乱古柱ノ木ヨリ
城東高木　土中ノ古キ木一名地主
東家鶏棲木（如字）
厠籌　田舎ニ稀ニアリ蕃芋ヲスリウニヘラヲ折ヘコソゲ
トルアリ其木即之ヒノキ
古觀板　古家ノ棺木也
震焼木　雷ノ落テ焼ケタル木ヨリ
河辺木（如字）　附録諸木一十九種自是以下不詳者畧
之不挙

服器之部　一

錦（ニシキ）　緒（キヌ）
帛（カトリ）　白キ者キヌ和ノ加賀絹羽二重ノ類
紗　繒（カトリ）　双絲（モロナリ）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

布（ヌノ）　綿（ワメ）
裡褌（ナレキヌ、メフサキ）　フンドシトシトヲ非也　行厨集曰褌
曰服衣又曰裡襠褲
汗衫（チハン、ハダギ）　行厨集曰汗巾曰汗櫛又無袖
者曰袢褌又曰袖服
孝子衫　三年喪中ニキタル衣ナリ今墓ニ孝子墓ト書
ルハヅシヤトヲ云フ也
病人衣（如字）　衣帯（如字）
頭巾（如字）
幞頭　武官之冠両方長ク勅ノ如キ耳有テ公ノ漢張
良ノ図ニ之レアリ　三才図会ニ見ユ
皮巾子（ヤワヅキン）
皮睡袋衣（キンチヤクノ類）　行厨集曰勅袋曰全錯
荷包曰荷囊
徹脚布（キマハシ）

紙（カミ）　服器之部　器物類　五十四種
藤紙（トウシ）唐紙ト書クハ非也　後漢蔡倫始製衣紙
閩人以謂竹者ハ今ノチクシ
青紙（アヲカミ）　印紙（カラカミ）
桐油繖紙（アブラギリノ油ヲ以テ製シタル傘ノカミナリ）

敗天公（ヤブレガサ）　釈褶襪子（頸ニ巻ヲヨキナガラ
大暑ノ中ト雖モ人家ヘ入ル故ニ気弟ノツカヌ礼ナキモノヲ云）
故箕衣（フルミノ）　藤屜（ワラムシロ）　蓆
皮鞾　行厨集曰鞾曰朝鞾又曰終鞾皆其連脛故
曰終鞾作靴俗也
麻鞋（アサワラジ）　木屐（今ノゾウリゲタ）
草鞋（ワラクツ）　屐屧曰曳縄（如字）
自縊死縄（如字）　臭床下鞋　死人枕席（如字）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

還魂紙（スキカヘシノカミ）　茶供惜字紙（カミクズカゴ）
暦日（コヨミ）　鍾馗（本草有三説可考）
桃符　正月ノ札也　桃ノ木ヲ板ニスル紙ヲ云ル也
桃橛（モヽノクイ）　地鎮ニ桃橛ヲスル〳〵ニ打込ムコトアリ
救月杖　月食ニ用ル杖ナリ　南元遺事長安城中毎月
食士女取鑑向月撃ヲ救月
撥火杖　大釜ノ火ヲ撥サガス岐ボウナリ
吹火筒（ヒフキダケ）　小児ノ蚯蚓ニ小便シカケテ陰茎腫ル
ヲ吹
鑿柄木（ノミノエ）　鍛椎柄（カナツチノエ）
釿楔（クサビ）　刀鞘（カタナノサヤ）
馬鞭（ムチ）　簫笛皮鏑（ヤカラ、ヤジリ）
弓弩弦（ユミツル）　紡車絃（ノルマヽノツル）今案ニウムリ
ルマヽヲ云
按頭（ヒ）　連枷梿（カラサヲノセン）京師ノ方言ニマイ

掬檐夫（ヨセコノワク）　伊勢物語ニタヒヲ、コト出タリ江戸
方言テンビンボウトヲ云
杭篦（クシ）　針線袋（ハリイレ）
蒲扇　三才圖會曰楷畳扇一名撒扇蓋取則摺畳
用則撒南越字作製要者非是製要則圓扇也可以遮而故
又謂之便面行厨集曰扇曰軽箑又曰便面張敖傳自
以便拇焉蓋人以扇障面即得其便故名又曰条融周昭
王收鶴翅為扇一名条融一名及昌蒲扇又作製要凡扇圭
曰圭箑箑金曰金箑疑扇檀骨才骨者
曰檀扇牙扇紗着曰紈扇蕉葉扇蒲扇各従其名又
曰掌扇曰大箑又曰敬塵
苫席（カマムシロ）　和ニ菰席ヲ包ムコトヲ古ヒロウケノ事ト云
箬笠（タケムシロ）　簑笠（鳥ヲ又ルタケカゴノハリ出ル者ニ
簾箔（スダレ）　漆器（フルヒキ）

国立国会図書館　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386
ガラス使用

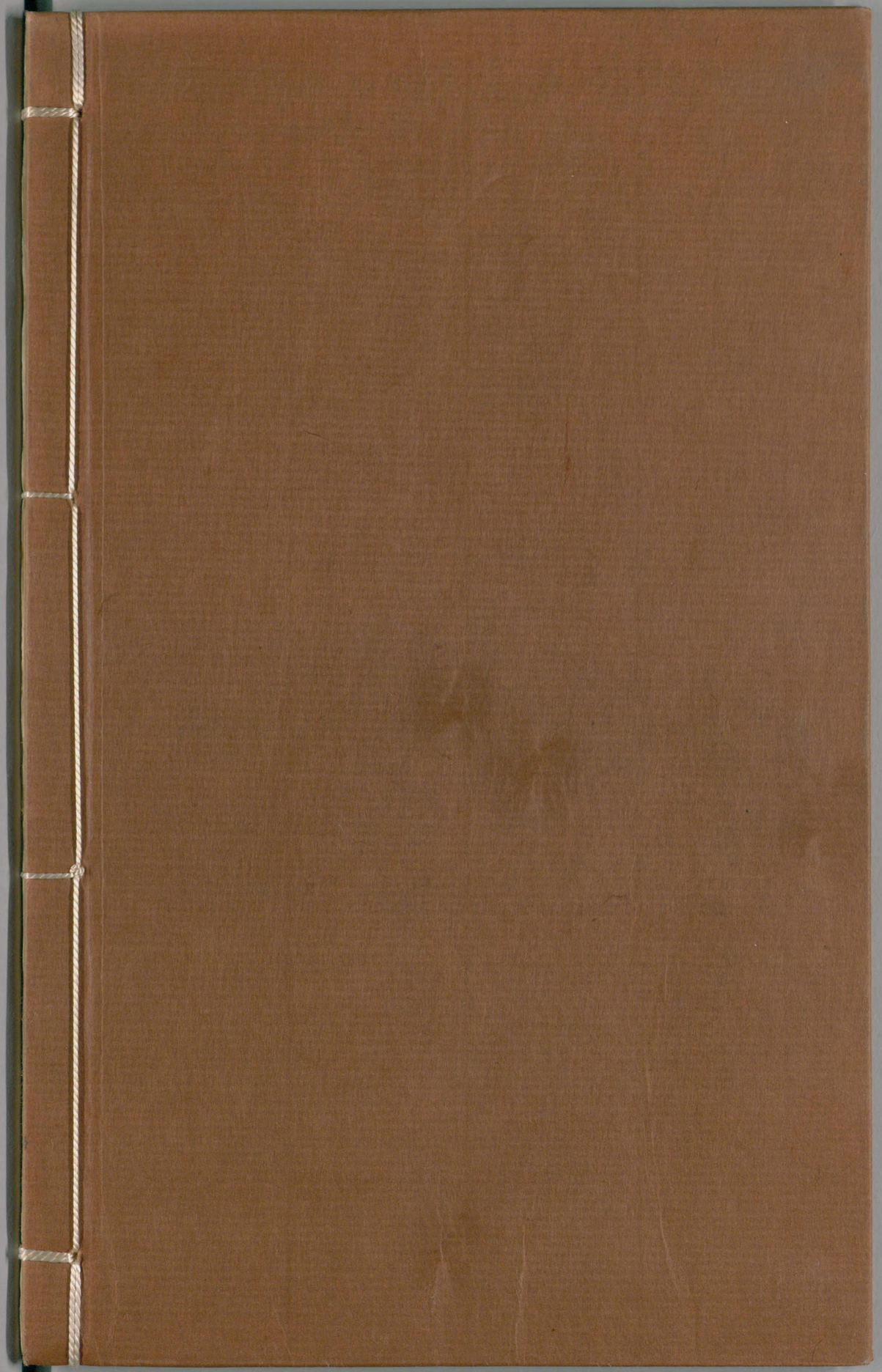
特1
3386

研朱石鎚（ミウボウ 朱スリボウ）
燈蓋油（アブラツキノ油） 敗船茹（古舟ノコリソ）
車脂（クルマノヨカミノ油） 故木砧（フルマナイタ）
釈 百味桐（マナイタ） 杓（ヒシャク）
節（ふし） 醯（コシキ 九木牛ニテ作ル）
鍋蓋（ナベフタ） 飯籮（イカキ）
蒸簀（セイロウ） 炊單布（シキヌノ） 故炊單（フルキ
カマおうキ） 簸箕舌（こ） 簸箕（ミウケ 或いうケ也云）
竹籃（タケカゴ） 魚筍（ヤナ或いうケ也云）
魚網（アミ） 倉卒ノ間ニ骨硬則酒ニテ魚網ヲ許ス用ス
草麻縄索（ナワ） 馬絆縄（ムマノツナ）
縛猪縄（ブタノツナ、キナワ） 牛鼻栗（牛ノ鼻ヲ通ス
木 和ノ牛拳ハ子ツノ木ニテ作ル
尿桶（セウベンタゴ） 耡耕銚曰今寺観割木為箕苛畳圃園
中名曰則箒甲氏曰当補入古箒或瘴眼瘡

特1
3386

国立国会図書館　　タイトル『本草綱目記聞 4巻』　請求記号 特1-3386

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『本草綱目記聞 4巻』 請求記号 特1-3386

ガラス使用